

DCダイワ外国株式インデックス

元本確保型の商品ではありません

◆ファンドの特色

- ・主な投資対象 外国株式
- ・ベンチマーク MSCIコクサイ指数(円ベース)
- ・目標とする運用成果 ベンチマークに連動した運用成果を目指します。

◆基準価額、純資産総額

基準価額	35,002円
純資産総額	619.32億円

* 既出分配金累計：0円

◆資産構成

株式	98.03%
株式先物	1.92%
株式実質	99.95%
現金等	1.97%

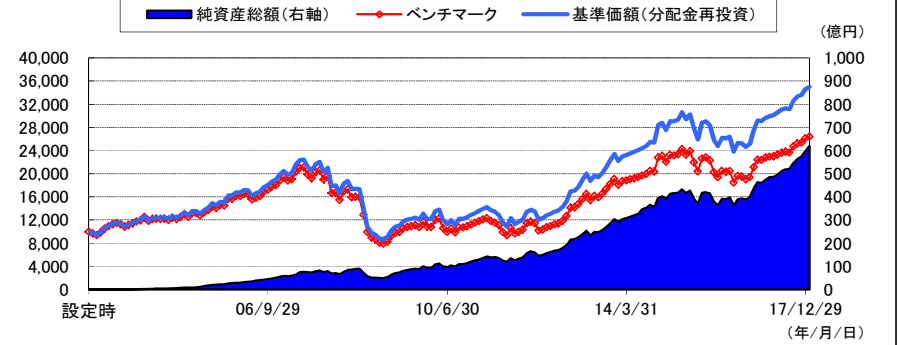
* 比率は純資産総額対比です。
(ペーパーファンドの実質組入比率にて計算しています。)

◆為替ヘッジ

為替ヘッジ比率	0.00%
---------	-------

◆基準価額の推移

- ・基準価額(分配金再投資)とベンチマークとの比較グラフです。
- ・月末最終営業日データ(分配金再投資基準価額・純資産総額)を使用しています。
- ・設定日(2003/1/27)の前日を10,000として、基準価額(分配金再投資)とベンチマークを指数化したものです。
- ・ベンチマークは、MSCIコクサイ指数(ヘッジなし・米ドルベース)に基づき、大和証券投資信託委託株式会社が計算したものです。



◆ファンド(分配金再投資)とベンチマークの収益率とリスク(標準偏差)

	3ヶ月間	6ヶ月間	1年間	3年間	5年間	10年間	設定来
ファンド収益率(分配金再投資)	4.94%	11.87%	20.30%	8.32%	15.63%	6.97%	8.89%
ベンチマーク収益率	4.59%	10.99%	18.05%	6.18%	13.36%	4.74%	6.88%
差異	0.35%	0.88%	2.25%	2.14%	2.26%	2.24%	2.01%
ファンドリスク(分配金再投資)	-----	-----	4.56%	15.88%	15.10%	20.83%	18.85%
ベンチマークリスク	-----	-----	4.62%	15.83%	15.07%	20.80%	18.81%

* ファンド収益率(分配金再投資)とは、当ファンドの決算時に収益の分配金があった場合に、その分配金で当ファンドを購入(再投資)した場合の収益率です。

* 収益率・リスクともに月次収益率より算出。なお設定日が月中の場合、設定日が属する月の月次収益率は含んでいません。

* 収益率は期間が1年以上の場合は年率換算しております。期間が1年未満のものについては年率換算していません。

◆国別配分上位

国・地域	ファンドウエート
1 アメリカ	65.52%
2 イギリス	7.07%
3 フランス	4.39%
4 ドイツ	4.02%
5 カナダ	3.70%
6 スイス	3.25%
7 オーストラリア	2.74%
8 オランダ	1.46%
9 香港	1.43%
10 スペイン	1.34%

◆業種配分上位

業種	ファンドウエート
1 金融	18.50%
2 情報技術	16.99%
3 ヘルスケア	12.14%
4 一般消費財・サービス	11.65%
5 資本財・サービス	10.40%
6 生活必需品	8.69%
7 エネルギー	6.55%
8 素材	5.05%
9 公益事業	2.80%
10 不動産	2.73%

* 業種は、原則としてS&PとMSCI Inc.が共同で作成した世界産業分類基準(GICS)によるものです。

◆組入上位10銘柄

(組入銘柄数 1324)

銘柄名	ファンドウエート	国
1 APPLE INC	2.16%	アメリカ
2 MICROSOFT CORP	1.70%	アメリカ
3 AMAZON.COM INC	1.47%	アメリカ
4 FACEBOOK INC-A	1.11%	アメリカ
5 JPMORGAN CHASE & CO	1.02%	アメリカ
6 JOHNSON & JOHNSON	0.96%	アメリカ
7 EXXON MOBIL CORP	0.92%	アメリカ
8 ALPHABET INC-CL C	0.91%	アメリカ
9 ALPHABET INC-CL A	0.88%	アメリカ
10 BANK OF AMERICA CORP	0.80%	アメリカ

* 上記3表のファンドウエートは、当ファンドにおける対純資産総額比率です。

◆過去3ヶ月間のパフォーマンス分析

当ファンドは、外国株式インデックスマザーファンドの組み入れを高位に保つ運用を行なっております。マザーファンドでは、MSCIコクサイ指数採用銘柄を中心に、月末時点で1,324銘柄に分散投資し、MSCIコクサイ指数(円ベース)への連動をめざしたポートフォリオを構築しております。また、一部S&P500先物も利用しております。過去3ヶ月間で基準価額は、4.94%の値上がりとなりました。為替相場は3ヶ月前との比較で円に対し米ドルは下落、ユーロは上昇するなどまちまちの動きでしたが、外国株式市況は米国、欧州市場がともに上昇し、基準価額を押し上げる要因となりました。同期間のMSCIコクサイ指数(円ベース)は、4.59%の上昇となっております。ファンドに配当金が計上される一方でベンチマークに配当が計上されないことが差異の主な要因となりました。

■当資料は、当商品の内容をご説明するために作成されたものであり、当該投資信託の勧誘を目的とするものではありません。■投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、元本および運用成果が保証されているものではありません。投資信託の運用による損益は、投資信託をご購入のお客様に帰属します。■当資料は、大和証券投資信託委託株式会社が信頼できると判断した諸データに基づいて作成されましたが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、上記の実績・データ等は過去のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。■上記「基準価額」は、運用管理費用(信託報酬)控除後のものです。■MSCIコクサイ指数は、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界主要国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。MSCIコクサイ指数(円ベース)は、MSCIコクサイ指数(ヘッジなし・米ドルベース)をもとに、MSCI Inc.の承諾を得て大和証券投資信託委託株式会社が計算したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。